

基礎教育センター ニュースレター

令和4年1月
九州産業大学
基礎教育センター
No.9(通算70号)

2月・3月も開室しています！

後学期定期試験も終わり、ひと段落したと思います。これから休みが約2カ月ありますが、皆さんはどのように過ごしますか？趣味に没頭する人、勉強、サークル活動に励む人様々だと思います。この2カ月を有意義な時間となるよう過ごしましょう。

休み期間中も、基礎教育センターは平日9時から17時まで開室しています。自学自習での来室はもちろん、書籍やノートパソコンの貸出も行っていますので、皆さん気軽に利用してくださいね！

基礎教育センターの利用状況について

昨年4月から12月までの利用状況です（提出物を出す等の簡易利用は除く）。

【学年別】

学年	人数
1年次生	411人
2年次生	260人
3年次生	335人
4年次生	250人
院生等	6人
合計	1,262人

【利用内容別】

利用内容	人数
授業や勉強に関すること	653人
オフィスアワー	72人
履修・時間割に関すること	146人
生活・行動面の相談	229人
自学自習	119人
学生交流・居場所	6人
基礎トレ	13人
資格に関すること	3人
その他	21人
合計	1,262人

【学部別】

学部	人数
経済	251人
商	201人
地域共創	164人
理工	146人
生命科	36人
建築都市工	48人
芸術	161人
国際文化	156人
人間科	88人
旧学部等	11人
合計	1,262人

今年度は、授業や勉強に関する質問が多く、センター内で教員に質問する学生の姿が多く見受けられました。分からないことはそのままにせず、積極的に質問しましょう！

次のページでは、学生アシスタントおすすめの本について掲載しています。

学生アシスタントおすすめの本を紹介します📖

【 もしものせかい 】 著：ヨシタケ シンスケ

もしも なにかを なくしたら。もしも もどって こないなら。

Casa BRUTUS「大人も読みたいこどもの本 100」にも選ばれた一冊です。

「もしもあれがうまくいっていたら・・・」

「もしもあちらを選んでいたら・・・」

「もしもあの人のそばに居たら・・・」

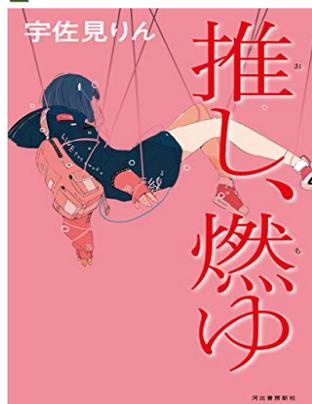
生きる中で一度は思ったことがあるのではないのでしょうか。

誰もが感じたことのある悲しくてどうしようもない気持ちを優しく包み込みながら前向きにしてくれます。

“いつものせかい”にちょっと疲れた時、心にほっかり穴が開いてしまった時にそっと寄り添ってくれる、そんなあたたかい物語です。ぜひ読んでみてください。
(芸術学部/3年生)



【 推し、燃ゆ 】 著：宇佐見 りん ※基礎教育センターで貸出できます



推しを自分のものにしたいわけではなく、追いかけることで満足し、完結していた主人公の人生。やがて推しの活動が終わるとともに、自分は推すことによって推しに自己を投影し、本当は向こう側へと突き抜けようとしていたのだと気づく後半の展開が圧巻でした。

「スタンプのような卑屈な笑顔」や「アイコンを取り換えるように表情が変わる」といった、絶対に現代でしかありえない表現がでできます。また、何かを推している人たちにとっては共感できる部分が多く出てくると思うので、この作品の世界にすぐに入り込むことができ、どんどん読み進めることができる作品です。ぜひご覧ください。

(経済学部/4年生)

【 大正浪漫 】 著：NATSUMI

この作品は、令和時代に生きる少年時翔と、大正時代に生きる少女千代子の間で交わされる恋文をめぐる物語です。

2023年と1923年という100年の時を超えた2人のやり取りが、どんな出来事を引き起こすかに注目です。

また、この作品は音楽グループYOASOBIの楽曲にも結び付いています。そのため曲を聴きながら小説の内容に思いを巡らすこともできます。小説と楽曲とでは、物語全体の描かれ方も異なるため、そこにも注目してみてください。
(国際文化学部/4年生)



基礎教育センター <<1号館2階>>

開室時間 平日 9:00~17:00

TEL: 092-673-5470

